

## 「気仙沼の魅力を発信」～山の活用と発展～

### 町づくり

グループ

月立小学校 6年  
5年

#### 1 なぜそのことを探究しようと思ったか

八瀬のことをみんなに教えたいから。  
八瀬には「人手不足」「動物が崖山へおりてくる」という課題があるから。

#### 探究して八瀬の何をどうしたいと思ったのか。

八瀬の課題を解決して、八瀬のよさを他の場所へ伝えたい。  
八瀬の良いところの他に悪いところを見つけて、改善したいから。

#### 2 探究のための体験活動！

##### (1) 土場・バイオマスパワープラント見学

- ① 気仙沼で町づくりをよりよくするためにどのような活動をしているかが分かった。  
→ 気仙沼だけの運営がある。
- ② 山が荒れると栄養が海に行かなくなる。→ また、お金をはらい外国の木を買って使おうになる。

##### (2) 炭焼き

- ① 炭をエネルギーとして、暖房などや消臭などの町づくりに生かしていることが分かった。  
→ 木を植えて大きくなったら切る(間伐)。

##### (3) 八瀬パラダイス計画

- ① 川にもゴミが落ちていた！
- ② 魚がたたくさんいた。→ 八瀬川は豊かなくなることが分かった。

##### (4) 相澤先生の講話

- ① 動物との付き合いで町づくりをよくなる。
- ② 安全な町にするため、もうつかわない木を切る。
- ③ 電柱には、ちゃんと電気を通して予防する。
- ④ 八瀬地区には動物被害が多い。→ ちようどうよい距離をとることで被害を減らせる。



マツタケマン

#### 3 探究して分かったことは？八瀬の何をどうする？ そのために必要なことは？



ぶらう

- (1) 八瀬や気仙沼の町づくりには、いろいろな人がたがわずわっている。

例えば...

- ① 木を切っていてチップに加工したりしている「八瀬森の牧場隊」の人達
- ② 相澤先生のような動物などのことで、どういいう対策をとったらいかなかなどを教えてください。

八瀬や気仙沼の町づくりににはたくさんの方が協力しているから、  
続けていかなきゃいけない！！

- (2) 八瀬は動物被害がおおい。山が荒れると他の場所へも被害が出る。  
八瀬川にもゴミがある。

- (3) 八瀬のみ力

- 自然でタケノコやまつたけが生えている。川がきれい。毎日あいさつをし  
てくれる人がいる。伝説芸能がある。



たくさんの方が山のための行動をする。

#### 4 八瀬のための行動！！わたしたちの挑戦！！

- ① 多くの人に山の課題や現状を知ってもらおう！  
そして、八瀬の魅力(みりよく)を発信する。
- ② 若い人達に、継いでくれるために呼びかけたり、  
体験の場をつくる。
- ③ どういう人達がどのような活動をしているかを、  
「生活総合発表会」でいろいろな人達に発信する。

#### 5 最後に一言！

自分たちの地域づくりのために、木を切る体験に参加したり、山の活動や町の行  
事に参加したりしてこうけんしよう！

海に近い場所に住んでいる人だからこそ、八瀬のことを知って、八瀬のみりよく  
に気づいてくれたらうれしいです！

## 「気仙沼の魅力を発信」～山の活用と発展～

### 野生動物

グループ

月立小学校 6年  
5年

#### 1 なぜそのことを探究しようと思ったか

動物が好きだから、いろいろ調べたいとおもったから。  
動物が好きだから。

#### 探究して八瀬の何をどうしたいと思ったのか。

八瀬の動物たちが暮らしやすくなりたいと思った。  
動物を守りたいと思った。

#### 2 探究のための体験活動！

##### (1) 相澤先生の講話

- ① ニホンジカのひが多い。野生動物のひが多い。交通事故、農薬のひが多い。また野生動物がまちにおりてくる。
  - ② 熊や鹿がどうして出てくるのか。
- ・ 熊の出発は、地球温暖化にともなう植物の変化、森林の変化を教える。エサを求めて熊が里山に出てくる件数が増えている。しかし、里山の放置はここ数年の問題ではない。
- ・ カモシカ、ニホンジカ、鹿は、大型哺乳類。
- ・ 野生動物が好きな場所は、かくれ家、えさが豊富、水飲み場があるなど。
- ・ ニホンオオカミの絶滅が関係している。生態系サーピスがある。一番ひが多いにはニホンジカ。

熊は、暖かい冬は冬眠しないから、油断してはダメ！！

##### (2) 山歩き

- ① 巨大なめくじがいる。どんぐりがある。木の葉がある。  
→ えさがある。食べ物があれば、動物は里山におりてこない。
- ② 山歩きに田村さんに行った。山の中に入るとあまり動物が食べる木の葉がなかった。(木の葉の木が間伐されていた)

##### (3) 土場・バイオマスパワープラント見学

- ① 木を活用している。→ チップ

BPP (バイオマスパワープラント)

環境が良くなれば、動物たちが安心して暮らせる

とんぐり



#### 3 探究して分かったことは？八瀬の何をどうする？ そのために必要なことは？

(1) 八瀬の動物のひがいをなくす！

- ・ 里山の管理
- ・ 防ごうの設置
- ・ エサ付けをやめる (まだとられていないカキを食べにくるから、全廃とるか、切る)

これらは全部人がする事！！

動物が住みやすくなるようにするには、えさになる葉がなる木を植え、間伐をして (ただしあまり切りすぎない)、動物のすみかを造る。二酸化炭素をあまり排出しないように、木を切りすぎないことが大切！

#### 4 八瀬のための行動！わたしたちの挑戦！

- ① 木の苗を植えたり、間伐をしたりする。
- ② 動物へのエサ付けをやめる。
- ③ 自然にいいことをする。  
※里山の管理→木を切りすぎても×、切らないのも×  
だから間伐の間断が必要！
- ④ 私たち子供でもできることを調べる！

#### 5 最後に一言！

ちゃんと山の管理をすれば、動物のひが少なくなりますが！  
人もしつかり動物のことを考えよう！！



うさぎさん



うさぎさん

BPPと動物をつ  
なげてみると...

## 「気仙沼の魅力を発信」～山の活用と発展～

# 山のエネルギー

グループ

月立小学校 5年  
5年  
5年



### 1 なぜそのことを探究しようと思ったか

八瀬はどのようなエネルギーで守られているのか知りたいと思った。  
「八瀬にはたくさん木がある。間伐しないといけない木もある。」という  
勝彦さんのお話に興味をもった。  
炭以外にもエネルギーがあることが分かったから、八瀬の間伐を守りたい  
と思った。

### 探究して八瀬の何をどうしたいと思ったのか。

八瀬の自然を大切に、間伐を守りたい。  
間伐した木を利用して、間伐を守るエネルギーがあるのか気になった。  
八瀬の木を切りすぎず、切らさないようにする。

### 2 探究のための体験活動！

#### (1) 土場・バイオマスパワーフラント見学

- ① エネルギーには、風・波・光がそろうって再生可能エネルギーになる。  
バイオマスパワーフラントでは、ガス槽を回して発電している。
- ② 土場にいた人の話を聞いて、山はとも木を大事にあらためて育てた。  
間伐した木でつくる「チップ」というものを知った。  
→チップについて・・・炭と同じで間伐にいい、CO2が少ない。  
間伐した木で作る。
- ③ チップや炭のどういうところが間伐にいいか分かった。

#### (2) 炭焼き・田村さんの講話

- ① 炭は木に入れば、薪の量減のくさがなくなっておいしくなる。  
船にも・・・健康、美容、料理で炭を使う。
- ② 炭をつくる技術は、世界で日本が一番だと分かった。
- ③ 1グラムの炭でも穴がたたくぶんおかげで清泉や水をきれいにすることができると分かった。その小さな穴のおかげで清泉や水をきれいにすることができると分かった。

#### (3) 山歩き

- ① 実際に山を歩き、山の様子を観察した。
- ② 山歩きで水についているいろいろな菌を見た。田村さんに水の菌類を観た。
- ③ 八瀬の山の状況や木を見た。途中で地面にくさった木があった。間伐をされている木があった。木の根が光のほうへ伸びていた。木がくさっていた所もあった。

#### (4) そのほか(相模原市立八瀬小・八瀬小・八瀬小・八瀬小)

- ① 動物と人間の関わり、生態系についてくわしく知ることができた。
- ② 八瀬の自然の豊かさを改めて感じた。→感謝することができた。
- ③ 山と海のつながりを理解できた。

### 3 探究して分かったことは？八瀬の何をどうする？ そのために必要なことは？

(1) 八瀬の山の管理はとても大事。

田村さんや山に関わっている人に呼びかける。

(2) 八瀬の自然を守る。  
自然と木に関わっている人の力になれるようにする。

環境に悪いことはしない。  
CO2を多く出すX  
木を切りすぎるX  
ゴミを捨てるX

(3)

炭とチップー間伐にいい。  
山・川・湖→つながっている  
動物→人間が守らなれないといけない  
(生態系など)

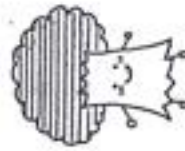
木の間伐をしないといけない。  
知のためにも山を管理しないといけない。  
動物のことを考えないといけない。  
山と海はつながっている。

### 4 八瀬のための行動！わたしたちの挑戦！

- ① 八瀬の人に、私たちの気持ちを伝える。自分も「八瀬への思い」を伝える。
- ② 八瀬の自然のみ力をしてもらおう。
- ③ みんなで協力して自然を守る。
- ④ 八瀬のために自然を守る活動(山・自然の講話など)に自分も参加する。少しでも役に立てるようにする。

### 5 最後に一言！

みんなで協力して、山を守ることができよう！  
八瀬は自然豊かなので、ぜひ来て下さい。  
自分の地域のことを考えることは、地域を守ることに繋がります！  
八瀬川もきれいだよ！  
あなただも自然を守る活動に参加しませんか？



もっくん

# 災害・森川海

グループ

月立小学校  
6年  
6年  
5年  
5年

## 1 なぜそのことを探究しようと思ったか

魚が好きだから、川や山を大切にしたい。八瀬の自然を守りたいから、八瀬の水がきれいなのかな、知りたくなった。環境が悪くなると、無虫卵や八瀬の良質な魚などがおぼろげに思われるから、なぜ、土砂災害が起きるのかを知りたいと思ったから。

### 探究して八瀬の何をどうしたいと思ったのか。

八瀬川や魚を守りたい。八瀬川の水をきれいさを保ちたい。八瀬川の水がきれいなのかな、知りたくなった。環境が悪くなると、無虫卵や八瀬の良質な魚などがおぼろげに思われるから、なぜ、土砂災害が起きるのかを知りたいと思ったから。

## 2 探究のための体験活動！

- (1) 八瀬パラダイス計画
- ① 八瀬川の水がきれいなのかな、知りたくなった。環境が悪くなると、無虫卵や八瀬の良質な魚などがおぼろげに思われるから、なぜ、土砂災害が起きるのかを知りたいと思ったから。
  - ② 八瀬川の水がきれいなのかな、知りたくなった。環境が悪くなると、無虫卵や八瀬の良質な魚などがおぼろげに思われるから、なぜ、土砂災害が起きるのかを知りたいと思ったから。
  - ③ 地域の皆さんに協力していただいていた。川が濁りすぎて、魚が死んでしまっている。でもゴミもあつた。ゴミが海に行くと、魚が死んでしまっている。
- (2) 土場・バイオマスパーク・フラット見学
- ① 同僚をする人は、近くのおじいちゃんと同じくらいの高齢者があつた。山が荒れて災害が起きる。川が濁りすぎて、魚が死んでしまっている。でもゴミもあつた。ゴミが海に行くと、魚が死んでしまっている。
  - ② 同僚した水でチップを作っている。チップはちよつとは CO2 が出るが、その分平入れをしている山で環境を守っている。

## (3) 森里海研究所体験学習

- ① プラントンをすくって見てみたら、すごく小さかった。
- ② 森と海の関係性が分かった。一瀬は海の都(山・森と海はつながっている)
- ③ 森の木を虫がみくみく食べて、腐葉土にすることで、川が栄養のあるよ水になる。

## (4) 山歩き

- ① 田村さんがガイドをしてくれた。同僚するのは、よいことだった。同僚しない、小さい木が倒れて、災害につながるかもしれない。一瀬川が汚れる。
- ② 山に生えている木の種類やどんな木が分かった。杉やヒノキが多かった。

## (5) 相澤先生の講話

動物も災害に悩んでいること(動物が歩く土じょうが悪くなる)が講話をしていただいていた。

## (6) あゆの稚魚放流

八瀬川の環境を守るために、あゆの稚魚放流を行った。八瀬の川に生き物を増やすために行った。少しでも自然とふれあうために体験した。

## 3 探究して分かったことは？八瀬の何をどうする？そのために必要なことは？

- (1) 人間が動物をよんで災害が起きたり、人間が山の手入れをしなかったりすることによって災害が起きる。
- (2) プラントンがきれいな海を作る。川に近い所に動物が多い。土がくずれたら、川に入ったら川が汚くなる。山を手入れすることで、腐や川がきれいになる。だから手入れをするのは大事！虫が葉をかみくみくど川がきれいになる。

(3) 八瀬の自然、同僚に関わっている人達、八瀬の人のやさしさ、八瀬以外の人のやさしさがわかった！

動物が来ないように、柿などの果物を収穫したり動物の住みやすい環境を作る。

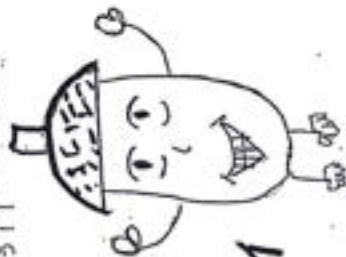
人間が住みやすい環境を作る→自分たちでできることをする。

## 4 八瀬のための行動！！わたしたちの挑戦！！

- ① 山についてもっと調べ。木を放置しないように呼びかける。
- ② 海についても調べて、山と海の関係の悪いところを解消する。
- ③ 同僚を手伝ってくれる人を呼ぶ。
- ④ 災害のおきる危険かしよを調べる。

## 5 最後に一言！

八瀬をきれいにするためにも、ゴミをすてないようにはしたいです。みなさんも、八瀬を守るためにがんばりましょう！災害が起きたり、動物が来たり、川や海がよくなるのは、人間のせいなので、人間の生活を変えてよりよい生活をするために、がんばりましょう！！



ボンガリホニー